

日本学術会議第25期新規会員任命に関する緊急声明に関するお知らせ

2020/10/6

内閣総理大臣は日本学術会議が第25期新規会員候補として推薦した105名のうち、一部の候補者を任命しませんでした。総理大臣は10月5日の内閣記者会でのインタビューで、「総合的、俯瞰的な活動を確保する観点から、今回の任命についても判断した」と述べていますが、「個別の人事に関することについてコメントは控えたい」と述べるなど、報道等でも指摘されているように、任命見送りになった経緯および理由を十分説明していません。

以上の事態を受けて、教育思想史学会理事会はメールでの持ち回り審議を行い、以下の緊急声明を決議し、ここに公表します。

教育思想史学会会長 小玉重夫

日本学術会議第25期新規会員任命に関する緊急声明

内閣総理大臣は日本学術会議が第25期新規会員候補として推薦した105名のうち、一部の候補者を任命しませんでした。10月6日現在、その十分な理由も開示されていません。これは、日本学術会議法に定められた同会議の独立性を侵害するものであり、ひいては日本国憲法の保障する「学問の自由」を脅かす重大な事態です。教育の学術的研究の発展に寄与することを目的とし、日本学術会議と活動を共にしてきた教育思想史学会は、この事態に深い憂慮を表明し、任命見送りの十分な根拠の明示と任命見送りの撤回を求めます。

2020年10月6日
教育思想史学会理事会